令和4年度　大田区立都南小学校　自己評価　報告書

令和4年　9月

○　本校の概要

○学校規模・・・・・・・児童数：377名・学級数：13学級・教職員数（35名）：校長1名、副校長1名、教員16名、養護教諭1名、非常勤教員1名、特別支援教室専門員1名、講師3名、事務1名、区会計年度任用職員5名　区非常勤等5名、スクールカウンセラー1名
○本校の教育目標・・・・○健康で明るい子　◎よく考え行動する子　◎人を愛するやさしい子　○終わりまで仕事をやりぬく子　（特に◎印を重点とし確かな学力の定着と豊かな心の育成を目指す。）
○本年度の主な取組・・・校内研究：教科（道徳科）　研究主題「自他を認め、よりよく生きようとする児童の育成～道徳科授業の中心発問の工夫を通して～」　各学級での実践を通して実現する。
○特色ある教育活動・・・『学校体制で学級経営を支える　「学習」・「学年」・「地域」の力　対話で育つ都南の子』をテーマとしてカリキュラムマネジメントを取り入れた教育活動を進める。
「都南の学び合い」「都南小学校のきまり」を継続的に指導し　日々の積み重ねによる基礎的、基本的な学力の定着と自律した生活能度の伸長を図る。学校支援地域本部「スクールサポートとな

○　自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	目標	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標		成果評価
プラン１　未来社会を創造的に生きる子供の育成	コミュニケーション能力、情報活用能力、ともに生きる力等、これからの社会の変化にしなやかに対応する子どもの力と自信を身に付けます。	外国語教育指導員を効果的に活用し、外国の方々とのコミュニケーション能力の育成等を図っている。	4：「おおむねできた」と全教員が回答した。		学び合いアンケートで「タブレットを使っての学習は楽しい」と回答した児童が80％以上	4：	
			3：80％以上が回答した。				
			2：60％以上が回答した。				
			1：60％未満であった。				
		論理的、科学的な思考力の育成を目指し、「おおたのものづくり」を生かした体験活動や理数授業等を実施する。	4：全教員が行った。		学び合いアンケートで「タブレットを使っての学習は楽しい」と回答した児童が70％以上	3：	
			3：80％以上の教員が行った。				
			2：60％以上の教員が行った。				
			1：60％未満であった。				
		学力の定着と学ぶ意欲の伸長を目指し、ICT機器を活用した授業を実施する。	4：設置教室を使用する全正規教員が週1回以上活用した。				
			3：80％以上の正規教員が週1回以上活用した。				
			2：60％以上の正規教員が週1回以上活用した。				
			1：60％未満であった。				
		他者の人権を尊重する人権教育の推進を目指し、人権教育資料等を活用した授業を実施する。	4：対象となる全学級（全教員）で行った。		学び合いアンケートで「タブレットを使っての学習は楽しい」と回答した児童が60％以上	2：	
			3：80％以上で行った。				
			2：60％以上で行った。				
			1：60％未満であった。				
		体力テストの結果を踏まえ体力向上全体計画を作成し、計画に基づいた体育指導や「一校一取組」運動や「一学級一実践」運動を実践する。	4：全教員で行った。				
			3：80％以上の教員で行った。				
			2：60％以上の教員で行った。				
			1：60％未満であった。		学び合いアンケートで「タブレットを使っての学習は楽しい」と回答した児童が60％未満	1：	
		新しい生活様式における対話を教育活動に取り入れ、コミュニケーション能力を高める工夫する。	4：全教員が行った。				
			3：90％以上が回答した。				
			2：80％以上が回答した。				
			1：80％未満であった。				
プラン２　学力の向上	児童・生徒一人ひとりの学ぶ意欲を高め、確かな学力を定着させます。	学習カルテを基に児童・生徒と面談し、一人ひとりの学習のつまずきや学習方法について、指導する。	4：対象となる全学級（全教員）で行った。		学び合いアンケートで「学校での勉強や生活に一生懸命取り組んでいる」と回答した児童が80％以上	4：	
			3：80％以上で行った。				
			2：60％以上で行った。				
			1：60％未満であった。				
		算数・数学到達度をステップ学習チェックシートで児童・生徒、保護者に知らせる。	4:学期に2～3回知らせた。		学び合いアンケートで「学校での勉強や生活に一生懸命取り組んでいる」と回答した児童が70％以上	3：	
			3：学期毎に知らせた。				
			2：年度間に1回は知らせた。				
			1：お知らせできなかった。				
		学習補助員等による算数・数学・英語の補習を実施する。	4：対象児童・生徒への出席を全教員が働きかけた。			2：	
			3：80％以上の教員が働きかけた。				
			2：60％以上の教員が働きかけた。				
			1：60％以下の教員が働きかけた。				
		授業改善推進プランを、授業に生かす。	4：「おおむねできた」と全教員が回答した。		学び合いアンケートで「学校での勉強や生活に一生懸命取り組んでいる」と回答した児童が60％以上	1：	
			3：80％以上が回答した。				
			2：60％以上が回答した。				
			1：60％未満であった。				
		学習指導要領に基づいたよく分かる授業になるよう教材研究を重ね、児童が学習意欲を高めるよう工夫した授業を行う。	4：全教員が行った。		学び合いアンケートで「学校での勉強や生活に一生懸命取り組んで		
			3：90％以上が回答した。				
			2：80％以上が回答した。				
			1：80％未満であった。				
プラン３　豊かな心の育成	子ども一人ひとりの正義感や自己肯定感、自己有用感などを高めるとともに、自他の生命を尊重する心を育成するなど、未来への希望に満ちた豊かな心をはぐくみます。	小中一貫による教育の視点に立った生活指導の充実により、社会のルールや学校のきまりなどを守ろうとする意識を高める。	4：全教員が行った。		学び合いアンケートにおいて、「自分にはよいところがあると思う」と答えた児童が80％以上	4：	
			3：80％以上の教員が行った。				
			2：60％以上の教員が行った。				
			1：60％未満であった。				
		道徳教育推進教師を講師とした研修や、国、都及び区の資料を活用した授業等を行う等道徳指導充実のための取組を行う。	4：学期に2～3回（年間6回）以上行った。		学び合いアンケートにおいて、「自分にはよいところがあると思う」と答えた児童が70％以上	3：	
			3：学期に1回（年間3回）以上行った。				
			2：年度間に1回以上行った。				
			1：実施しなかった。				
		学校生活調査（メンタルヘルスチェック）の結果よりストレス症状のみられる児童・生徒に対して組織的に対応する。	4：「組織的対応ができた」と全教員が回答した。				
			3：80％以上の教員が回答した。				
			2：60％以上の教員が回答した。				
			1：60％未満であった。				
		学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見等のための取組を実施する。	4：「組織的対応ができた」と全教員が回答した。		学び合いアンケートにおいて、「自分にはよいところがあると思う」と答えた児童が60％以上	2：	
			3：80％以上の教員が回答した。				
			2：60％以上の教員が回答した。				
			1：60％未満であった。				
		問題行動・不登校問題等にかかわる児童・生徒に関するケース会議等を実施する。	4：必要な事案に対して必ず会議を実施し、組織的に対応した。				
			3：必要な事案に対しておおかた会議を実施した。				
			2：必要な事案に対してあまり会議を実施しなかった。			1：	
			1：必要な事案に対してほとんど会議を実施せず、組織的な対応をしなかった。				
		「特別の教科　道徳」の指導において、家庭と連携しながら自己を見つめる指導の工夫をする。	4：全教員が行った。		学び合いアンケートにおいて、「自分にはよいところがあると思う」と答えた児童が60％未満		
			3：90％以上が回答した。				
			2：80％以上が回答した。				
			1：80％未満であった。				
プラン４　体力の向上と健康の増進	スポーツに親しむ心の育成や、運動習慣の定着による体力の向上など、生涯にわたって健康増進を図る意識の向上をめざします。	「早寝・早起き・朝ごはん」月間の取組等を通して、児童・生徒や保護者に対し、望ましい生活習慣についての意識啓発を行う。	4：全教員で行った。		学び合いアンケートにおいて「朝食を食べて登校している」と回答した児童が80％以上	4：	
			3：80％以上の教員で行った。				
			2：60％以上の教員で行った。				
			1：60％未満であった。				
		給食指導及び教科等における指導を通して、食生活の充実・改善をねらいとした「食育」を推進する。	4：全教員で行った。		学び合いアンケートにおいて「朝食を食べて登校している」と回答した児童が70％以上	3：	
			3：80％以上の教員で行った。				
			2：60％以上の教員で行った。				
			1：60％未満であった。				
		体育的行事、部活動、休み時間など様々な機会を通して運動習慣の確立を推進する。	4：全教員で行った。		学び合いアンケートにおいて「朝食を食べて登校している」と回答した児童が60％以上	2：	
			3：80％以上の教員で行った。				
			2：60％以上の教員で行った。				
			1：60％未満であった。				
		新しい生活様式の中での体力向上と健康の増進を図る指導を工夫する。	4：全教員で行った。				
			3：90％以上が回答した。				
			2：80％以上が回答した。			1：	
			1：80％未満であった。		学び合いアンケートにおいて「朝食を食べて登校している」と回答した児童が60％未満		
プラン５　魅力ある教育環境づくり	児童・生徒が安全・安心に学校生活を送るために、教員の指導力向上と良質な教育環境をつくります。	授業公開日の授業評価を、その後の授業改善に生かす。	4：「おおむねできた」と全教員が回答した。		保護者アンケートにおいて「お子さんは友達と仲良く遊んだり勉強したりして、楽しく学校生活を送っていると思う」との回答が80％以上	4：	
			3：80％以上の教員が回答した。				
			2：60％以上の教員が回答した。				
			1：60％未満であった。				
		授業改善セミナー等の研修成果を生かし、主任教諭が助言・支援を行う校内研修等を実施しOJTを充実させる。	4：学期に2～3回（年間6回）以上行った。		保護者アンケートにおいて「お子さんは友達と仲良く遊んだり勉強したりして、楽しく学校生活を送っていると思う」との回答が70％以上	3：	
			3：学期に1回（年間3回）以上行った。				
			2：年度間に1回以上行った。				
			1：実施しなかった。				
		各種研究発表会等の研究・研修の成果を、自身の授業改善に生かす。	4：「おおむねできた」と全教員が回答した。				
			3：80％以上の教員が回答した。				
			2：60％以上の教員が回答した。		保護者アンケートにおいて「お子さんは友達と仲良く遊んだり勉強したりして、楽しく学校生活を送っていると思う」との回答が60％以上	2：	
			1：60％未満であった。				
		校内委員会等を確実に実施し、学校における特別支援教育を推進する。	4：月1回以上行った。				
			3：学期に2～3回行った。				
			2：学期1回以上行った。				
			1：実施しなかった。			1：	
		各教員が自ら教材研究を行い、教員間で授業を公開したり、協議をしたりすることにより授業改善をする。	4：授業改善に取り組み、全教員が実践した		保護者アンケートにおいて「お子さんは友達と仲良く遊んだり勉強したりして、楽しく学校生活を送っていると思う」との回答が60％未満		
			3：授業改善に取り組み、90％以上の教員が実践した。				
			2：授業改善に取り組み、80％以上の教員が実践した。				
			1：授業改善に取り組み、80％未満の教員が実践した。				
プラン６　学校・家庭・地域が一体となってともに進める教育	学校・家庭・地域が担う役割などを明確にし、地域に開かれた教育の実現を目指します。また、相互の連携を深め、子どもを育てる仕組みを作ります。	教育目標・学校経営方針・学校評価等の基本情報、児童・生徒の活動情報等をホームページ等で公開及び更新することにより、積極的に情報を発信する。	4：月1回以上更新した。		保護者アンケートで「学校は、保護者会・学校だより・学年だより・ホームページ等をとおして学校生活や教育内容について、分かりやすく伝えていると思う。」との回答が80％以上	4：	
			3：学期に2～3回更新した。				
			2：学期1回以上更新した。				
			1：更新しなかった。				
		地域教育連絡協議会において、児童・生徒の変容等の具体的な資料を作成して、評価に必要な学校の情報を適切に提供し、適正な評価を受けるよう努める。	4：毎回情報を提供した。		保護者アンケートで「学校は、保護者会・学校だより・学年だより・ホームページ等をとおして学校生活や教育内容について、分かりやすく伝えていると思う。」との回答が70％以上	3：	
			3：おおむね情報を提供した。				
			2：あまり情報を提供しなかった。				
			1：情報を提供しなかった。				
		学校支援地域本部と連携するなどして、地域力を生かした特色ある教育活動を実践する。	4：学期に2～3回行った。		保護者アンケートで「学校は、保護者会・学校だより・学年だより・ホームページ等をとおして学校生活や教育内容について、分かりやすく伝えていると思う。」との回答が60％以上	2：	
			3:学期1回以上行った				
			2：年1回以上行った。				
			1：実施しなかった。				
		学校における感染症予防のための最新の情報を得ながら、家庭・地域とともに連携し感染症予防対策を行う。	4：全教員が積極的に行った。				
			3：90％以上の教員が積極的に行った。				
			2：80％以上の教員が積極的に行った		保護者アンケートで「学校は、保護者会・学校だより・学年だより・ホームページ等をとおして学校生活や教育内容について、分かりやすく伝えていると思う。」との回答が60％未満	1：	
			1：積極的に行った教員は80％未満であった。				

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。
○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめて行う。
○学校関係者評価の「評価」は、A：自己評価は適切である　B：自己評価はおおむね適切である　C：自己評価は適